

(別表)

目標指標

指 標 名		現 状 値		目 標 値
			年度	平成25年度
平日1日当たり、家や図書館で10分以上読書をしている児童生徒の割合	小6	63.9%	H20	80.0%
	中3	45.4%	H20	60.0%
読み聞かせグループの数		144 グループ	H19	167 グループ
公立図書館における中学生以下の子ども1人あたりの児童書年間貸出冊数		8.3冊	H19	9.4冊
読書活動を週1回以上実施している学校の割合 ※小・中学校の現状値は「読書活動を週1回以上全校一斉で実施している学校」の割合	小学校	91.2%	H19	100.0%
	中学校	47.9%	H19	94.0%
	高 校	38.5%	H19	40.0%
1か月に3冊以上本を読む児童生徒の割合	小5	75.6%	H19	81.0%
	中2	49.4%	H19	55.0%
読書が好きな生徒の割合	高1	60.2%	H19	66.0%
学校図書館図書標準を達成している学校の割合	小学校	60.2%	H18	70.0%
	中学校	60.6%	H18	70.0%
学校図書館においてボランティアなどと連携している小学校の割合		66.1%	H19	69.0%
子ども読書活動推進計画を策定している市町村の割合		22.2%	H20	50.0%

参 考 資 料

1	前計画における取組状況	2 4
2	子どもの読書活動の推進に関する法律	3 2
3	文字・活字文化振興法	3 4
4	県内公立図書館等一覧	3 6
5	用語解説	3 7

1 前計画における取組状況

(1) 成果と課題

平成16年度からの約5年間、大分県内では重点施策である「読書習慣の形成」、「あらゆる機会・場所における読書機会の提供」を達成するため、さまざまな方策に取り組みました。その結果、公立図書館におけるおはなし会等の実施率の向上や読み聞かせグループ数の増加、全校一斉の読書活動を実施している学校数の割合の上昇など、子どもの読書活動を推進する環境に大きな前進が見られました。

一方で、読書量の多い小学生に比べ、中学生になると、その量が減少するという状況や学校における公立図書館やボランティア等との連携が全国平均を下回っているという状況は依然として続いており、子どもたちの自主的な読書活動を推進するために、今後も引き続き家庭・地域・学校の連携を深め、社会全体で読書活動の取組を進めていく必要があります。

(2) 前計画で設定した目標の達成状況と検証

前計画では、2つの重点施策について目標を設定し、それを検証することで計画の進行管理の参考としました。

① 読書習慣の形成

ア) ボランティア読み聞かせグループの支援

〈目標〉 子どもの読書習慣の形成のため、読み聞かせグループ等の研修会などを通じて、読み聞かせグループ等の養成と活動実態の把握に努め、さらには、読み聞かせグループ等に係る情報提供に努めることにより、すべての市町村で活動を可能にする。

【読み聞かせグループの数】

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
グループ数	122	128	139	144

資料：平成19年度子ども文庫・読み聞かせグループ名簿（県立図書館）

- ・県内の読み聞かせグループの数は、平成16年度の122グループから平成19年度は144グループに増加するとともに、その活動はすべての市町村において行われており、子どもの読書活動を支援するボランティア団体の広がりがうかがえます。
- ・今後は、子どもの読書活動や読み聞かせグループに関する情報の収集に努めるとともに、読み聞かせグループや県民に対して、その情報を広く発信するなど、読み聞かせグループの活動が一層充実するよう支援していく必要があります。

1) 発達段階に応じた図書資料の情報提供

＜目標＞ 子どもの読書習慣の形成のため、乳幼児期などの発達段階別の優良図書リストの作成に努め、公立図書館等に優良図書を整備することにより、すべての子どもへの優良図書の提供を可能にする。

【県立図書館が作成した発達段階別の優良ブックリスト】

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
発達段階別の優良ブックリスト	乳幼児向け	小学校1・2年生向け	小学校3・4年生向け	小学校5・6年生向け	中・高校生向け

資料：県立図書館調査

- ・県立図書館において、乳幼児から中・高校生まで、発達段階に合わせた優良図書のブックリストを作成し、県内の学校や公立図書館、保護者等へ配布しました。
- ・今後も引き続き、県立図書館推薦優良図書の貸出し等を行うとともに、すべての図書館において、子どもの発達段階に合わせた質のよい児童図書の整備・充実に取り組むよう働きかけます。



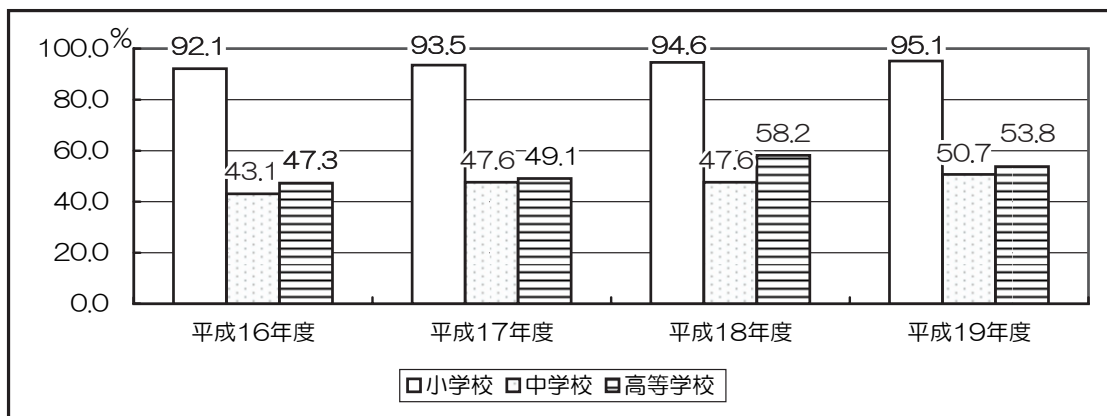
県立図書館が作成した発達段階別の優良ブックリスト

り) 学校での「朝読書」等、読書に係る行事の実施

＜目標＞ 子どもの読書習慣の形成のため、学校での「朝読書」等、行事の実施率を全国レベル以上にする。

【全校一斉の読書活動を実施している学校の割合】

対 象	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	全 国	大分県	全 国	大分県	全 国	大分県	全 国	大分県
小 学 校	88.5%	92.1%	91.3%	93.5%	93.7%	94.6%	94.4%	95.1%
中 学 校	73.9%	43.1%	78.0%	47.6%	81.2%	47.6%	84.1%	50.7%
高等学校	32.1%	47.3%	34.7%	49.1%	37.8%	58.2%	36.9%	53.8%



資料：学校図書館の現状に関する調査（文部科学省、大分県教育委員会）

- ・ 全校一斉の読書活動を実施している学校数の割合は、小学校においては、平成19年度は95.1%で、平成16年度と比較すると3.0ポイント増えており、全国平均を0.7ポイント上回っています。
- ・ 中学校においては、平成19年度は50.7%で、平成16年度と比較すると7.6ポイント増えていますが、全国平均を大きく下回っています。
- ・ 高等学校においては、平成19年度は53.8%で、平成16年度と比較すると6.5ポイント増えており、全国平均を16.9ポイント上回っています。
- ・ 今後も引き続き、全校一斉の読書活動をはじめとする読書行事に取り組むよう働きかけていく必要があります。

I) 家庭での読書活動推進（ブックスタート[※]事業等）の実施

＜目標＞ 子どもの読書習慣の形成のため、家庭教育に係るすべての事業の中で、読書の意義等の啓発をする。

【ブックスタート事業を実施している市町村の割合】

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
実施率	5.1%	48.0%	66.7%	61.1%
実施市町村数	3	12	12	11
年度当初市町村数	58	25	18	18

資料：市町村ブックスタート支援事業実施状況一覧（大分県福祉保健部）

- ・ブックスタート事業を実施している市町村の割合は、平成19年度は61.1%で、平成16年度と比較すると大幅に増加しており、家庭における読書活動を促すブックスタート事業が積極的に推進されたことがうかがえます。
- ・PTAを対象とした研修会等において、読み聞かせの重要性に関する内容を実施するなど、読書の意義等についての啓発を行いました。
- ・今後とも、子どもの読書習慣形成のため、家庭教育に関する講座等の機会を活用して、保護者に読書活動への理解の促進を図るとともに、市町村においても、読書活動に対する理解の促進に向けた取組の充実が図られるよう働きかけていく必要があります。



市町村におけるブックスタート事業



② あらゆる機会・場所における読書機会の提供

ア) 図書館職員の研修の充実及び先進事例の情報提供

＜目標＞ 職員の資質向上を図るため、すべての図書館等職員が研修を受講できるようにする。

【公立図書館等職員研修会に参加した図書館等職員の割合】

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度
参加率	141.9%	149.5%	139.1%
参加者数	308人	308人	288人
市町村図書館職員数	217人	206人	207人
年間実施回数	5回	5回	5回

資料：県立図書館調査

- ・ 県立図書館において実施した「公立図書館等職員研修会」への県内市町村の図書館等職員の参加率は、平成19年度は139.1%で、平成17年度と比較すると、2.8ポイント減少しています。
- ・ 今後も引き続き、県内の公立図書館、公民館図書室等におけるサービスの向上に向けた研修会の開催等により、職員の資質向上を図るとともに、市町村に対して積極的な参加を促す必要があります。



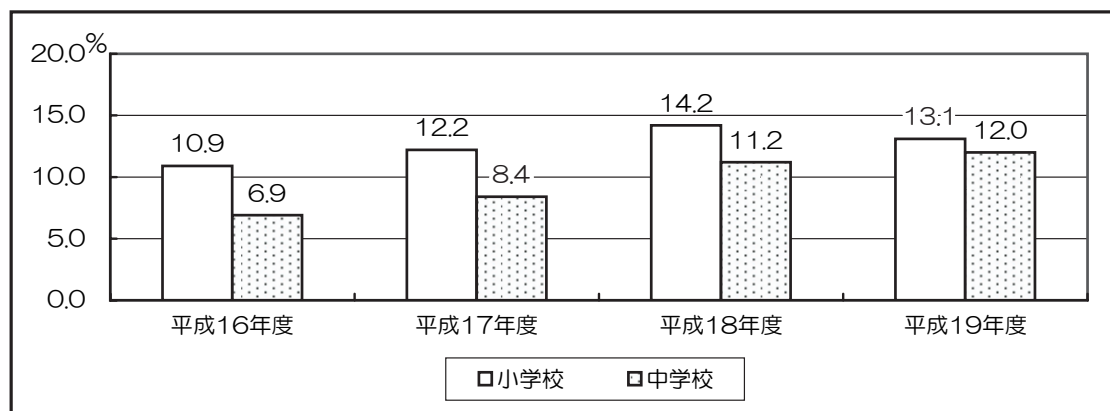
県立図書館における「公立図書館等職員研修会」

1) 学校図書館の開放と公立図書館等との連携

〈目標〉 あらゆる機会・場所における読書機会の提供を進めるため、学校図書館の開放を進め、全国レベル以上にする。

【学校図書館を地域住民に開放している学校の割合】

対 象	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	全 国	大分県	全 国	大分県	全 国	大分県	全 国	大分県
小 学 校	10.4%	10.9%	10.9%	12.2%	10.3%	14.2%	10.3%	13.1%
中 学 校	5.6%	6.9%	5.9%	8.4%	5.5%	11.2%	5.7%	12.0%



資料：学校図書館の現状に関する調査（文部科学省、大分県教育委員会）

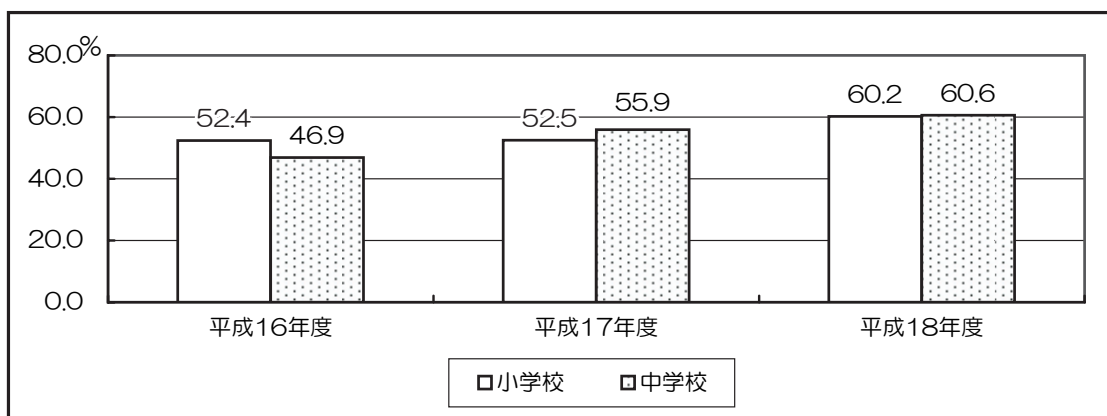
- ・学校図書館を地域住民に開放している学校の割合は、小学校においては、平成19年度は13.1%で、平成16年度と比較すると2.2ポイント増えており、全国平均を2.8ポイント上回っています。
- ・中学校においては、平成19年度は12.0%で、平成16年度と比較すると5.1ポイント増えており、6.3ポイント上回っています。
- ・今後も引き続き、学校の実情に応じた学校図書館の地域住民への開放について働きかけます。

り) 学校図書館の図書資料の整備等

〈目標〉 あらゆる機会・場所における読書機会の提供をするため、すべての学校が、図書標準冊数を上回るよう努める。

【学校図書館図書標準を達成している学校の割合】

対 象	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	全国	大分県	全国	大分県	全国	大分県
小 学 校	37.8%	52.4%	40.1%	52.5%	42.0%	60.2%
中 学 校	32.3%	46.9%	34.9%	55.9%	36.8%	60.6%



資料：学校図書館の現状に関する調査（文部科学省、大分県教育委員会）

- ・学校図書館図書標準を達成している学校の割合は、小学校においては、平成18年度は60.2%で、平成16年度と比較すると7.8ポイント増えており、全国平均を18.2ポイント上回っています。
- ・中学校においては、平成18年度は60.6%で、平成16年度と比較すると13.7ポイント増えており、全国平均を23.8ポイント上回っています。
- ・小・中学校ともに、徐々に蔵書の整備が進められていますが、今後とも、市町村に対して、学校図書館図書標準が早期達成できるよう計画的な整備を促します。

I) 市町村合併に対応した読書活動推進体制の整備

＜目標＞ すべての市町村は、国の基本計画及び県の「子ども読書活動推進計画」を基本とし、推進計画を策定するよう努める。

【推進計画を策定している市町村の割合】

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
策定率	0%	4.0%	11.1%	22.2%
策定済累計市町村数	0	1	2	4
年度当初市町村数	58	25	18	18

資料：市町村における「子ども読書活動推進計画」の策定状況調査（大分県教育委員会）

- ・ 推進計画を策定している市町村の割合は、平成19年度は4市町村であり、策定率は22.2%にとどまっています。
- ・ 今後も引き続き、未策定の市町村に対して、早期に推進計画を策定するよう促します。